

平成18年度 中小企業庁委託事業

平成18年度 商店街実態調査報告書

簡易版



平成19年3月

* は じ め に *

商店街実態調査は、全国の商店街を取り巻く環境やその実態を、アンケート調査により把握し、今後の商店街振興施策の基礎資料とすることを目的として実施しています。昭和45年に開始され、今回の調査が9回目の実施になります。

本報告書（簡易版）は、商店街実態調査報告書の内容を一部抜粋し、そのポイントを簡単に紹介することを目的として作成しました。商店街を取り巻く環境はどうなっているのか、商店街を活性化するためにどのようなことに取り組んでいるのかなど、商店街関係者の活動の参考となれば幸いです。

なお、商店街実態調査報告書の内容については、全国商店街振興組合連合会のホームページ（<http://www.syoutengai.or.jp/>）から閲覧することができます。

C ontents

I . 商店街実態調査について

1. 目的	04
2. 調査概要	04
3. 回答率	05
4. 調査項目	05

II . 調査結果のポイント

1. 商店街の概要について

・ 商店街の全体の店舗数	06
・ 商店街のチェーン店舗数	07
・ 商店街の空き店舗数	08
・ 商店主が居住している店舗の割合	09
・ 商店街組織の専従事務局員数	10
・ 営業店舗における会費を納めていない店舗	10
・ 商店街の最近の景況	12

2. 商店街の問題と取組みについて

・ 商店街の抱える問題	13
・ 繁栄している商店街の取組み	14
・ 繁栄している商店街の個店に向けた取組み	15
・ 商店が廃業した主な理由	16
・ 空き店舗が埋まらない理由	16
・ 店舗の入れ替えに関する取組み	17
・ 商店街が行っているソフト事業等	18
・ 商店街が行っているハード事業等	19

商店街実態調査について

1. 目的

商店街をめぐる環境は、大型店の郊外展開や少子高齢化の進展などから、年々厳しさを増しているところです。

本調査は、全国の商店街の概要や景況、直面している問題や取り組んでいる事業等について詳しく調査し、商店街の実態を把握することを通して、今後の商店街振興施策の基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査概要

調査地域	全国を対象とする
調査対象	商店街※（商店街振興組合、事業協同組合、任意団体）
調査方法	郵送による発送・回収及びインターネットによる回収
調査時点	平成18年11月
調査票発送数	8,000

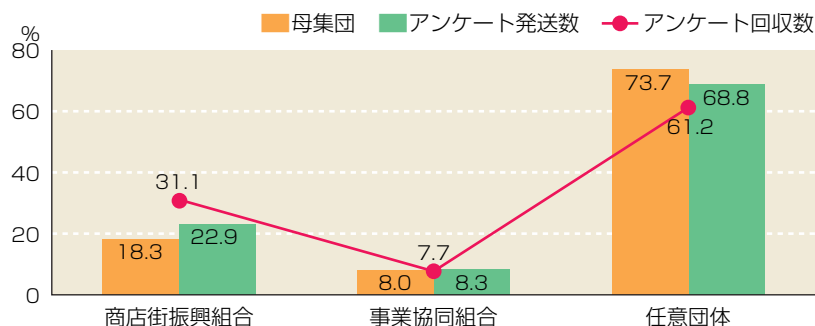
※この調査でいう「商店街」とは、①小売業、サービス業等を営む者の店舗等が主体となって街区を形成し、②何らかの組織（例えば、〇〇商店街振興組合、〇〇商店会等で法人格の有無は問いません）を形成しているものをいいます。

3. 回答率

回答率 34.7%

有効回答率 33.1%

●図表1 商店街の組織形態・アンケート発送及び回収（率）



4. 調査項目

(1) 商店街の概要

- 組織形態
- 店舗数
- 空き店舗数
- 会員数
- 事務局専従者数
- 業種構成 等

(2) 商店街の立地環境及び商業環境

- 事務所所在地
- 立地環境
- 中心来街者層
- 来街者数の変化
- 各種調査 等

(3) 商店街の景況と近年の変化

- 景況
- チェーン店舗、テナント店舗の変化
- 空き店舗の変化
- 大規模店舗の影響 等

(4) 商店街の問題と取組み

- 商店街の大きな問題
- 個店の改善活性化策
- 空き店舗問題
- 組織の活動
- 商店街リーダー
- 各種商店街事業の取組みと今後 等

II

調査結果のポイント

1. 商店街の概要について



商店街の全体の店舗数は？

A. 商店街タイプ*別の平均店舗数は、「近隣型商店街」が53.7店、「地域型商店街」が62.8店、「広域型商店街」が76.3店、「超広域型商店街」が84.4店です。全体の平均は、59.2店です。

●図表2 全店舗数(商店街タイプ)

	合計	1 店	2 店	3 店	4 店	5 店	6 店	7 店	8 店	9 店	10 店	11 店	12 店	13 店	14 店	15 店	20 店以上	無 回 答	平 均	実 数 合 計
総 数	2644 100.0	314 11.9	388 14.7	375 14.2	342 12.9	263 9.9	223 8.4	172 6.5	119 4.5	88 3.3	215 8.1	81 3.1	63 2.4	1 0.0	59.18	156415 100.0				

【商店街タイプ】

近 隣 型 商 店 街	1431 100.0	207 14.5	232 16.2	225 15.7	174 12.2	139 9.7	115 8.0	81 5.7	50 3.5	49 3.4	101 7.1	36 2.5	21 1.5	1 0.1	53.65	76718 49.0
地 域 型 商 店 街	928 100.0	91 9.8	125 13.5	124 13.4	131 14.1	98 10.6	78 8.4	65 7.0	47 5.1	31 3.3	80 8.6	29 3.1	29 3.1	—	62.75	58234 37.2
広 域 型 商 店 街	184 100.0	9 4.9	16 8.7	14 7.6	24 13.0	15 8.2	21 11.4	21 11.4	17 9.2	6 3.3	25 13.6	9 4.9	7 3.8	—	76.25	14030 9.0
超 広 域 型 商 店 街	66 100.0	3 4.5	6 9.1	5 7.6	12 18.2	7 10.6	7 10.6	2 3.0	4 6.1	2 3.0	6 9.1	7 10.6	5 7.6	—	84.36	5568 3.6
無 回 答	35 100.0	4 11.4	9 25.7	7 20.0	1 2.9	4 11.4	2 5.7	3 8.6	1 2.9	—	3 8.6	—	1 2.9	—	53.29	1865 1.2

※「商店街タイプ」について

近 隣 型 商 店 街 最寄品中心で地元主婦が日用品などを徒歩または自転車などにより日常性の買い物をする商店街

地 域 型 商 店 街 最寄品店及び買回り品店が混在し、近隣型商店街よりもやや広い範囲から、徒歩、自転車、バス等で来街する商店街

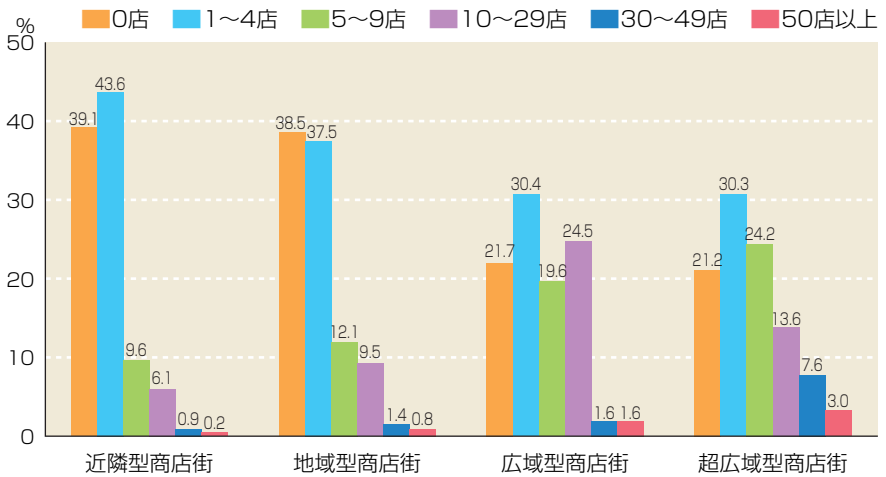
広 域 型 商 店 街 百貨店、量販店などを含む大型店があり、最寄品店より買回り品店が多い商店街

超 広 域 型 商 店 街 百貨店、量販店などを含む大型店があり、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、距離からの来街者が買い物をする商店街

Q 商店街のチェーン店舗数は？

A. 商店街タイプ別の平均チェーン店舗数は、「近隣型商店街」が2.8店、「地域型商店街」が3.9店、「広域型商店街」が8.6店、「超広域型商店街」が10.9店です。全体の平均は、3.8店です。

● 図表3 商店街タイプ別のチェーン店舗数割合

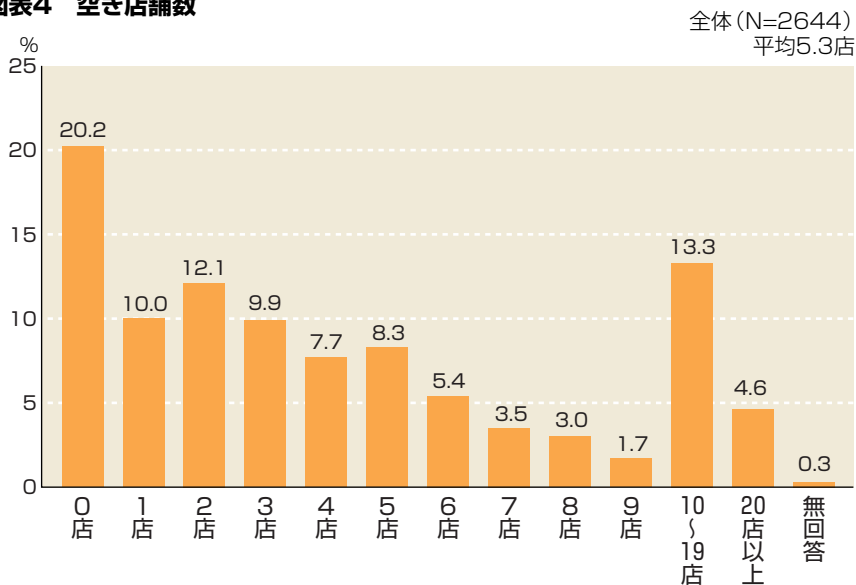




商店街の空き店舗数は？

A. 全体の平均は、5.3店です。また、空き店舗率は8.98%で、単純に比較することはできませんが、過去4回の調査で最も高い数字になりました。

● **図表4** 空き店舗数



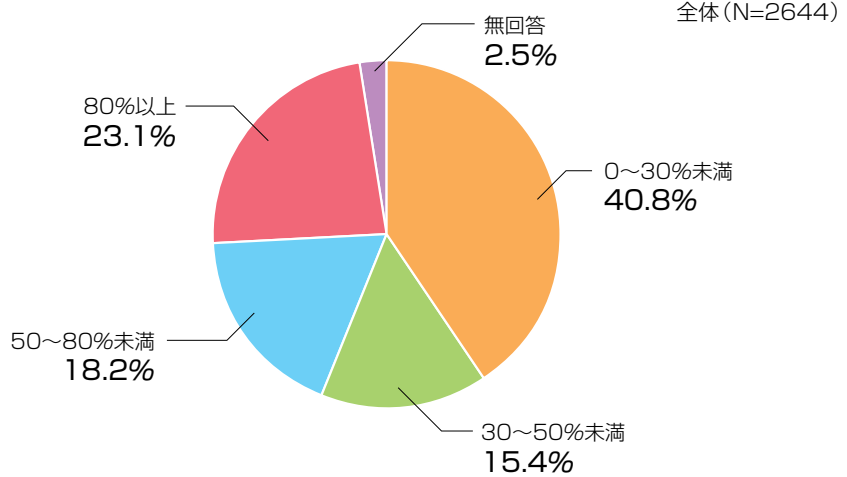
● **図表5** 空き店舗率と空き店舗の過年度比較

調査年度	空き店舗率	空き店舗の5年(または3年)前との比較			
		増えている	変化なし	減っている	無回答
平成7年度	6.87%	46.0%	38.6%	8.4%	7.0%
平成12年度	8.53%	43.7%	38.8%	8.1%	9.4%
平成15年度	7.31%	36.8%	44.6%	11.2%	7.4%
平成18年度	8.98%	37.1%	46.5%	11.3%	5.1%

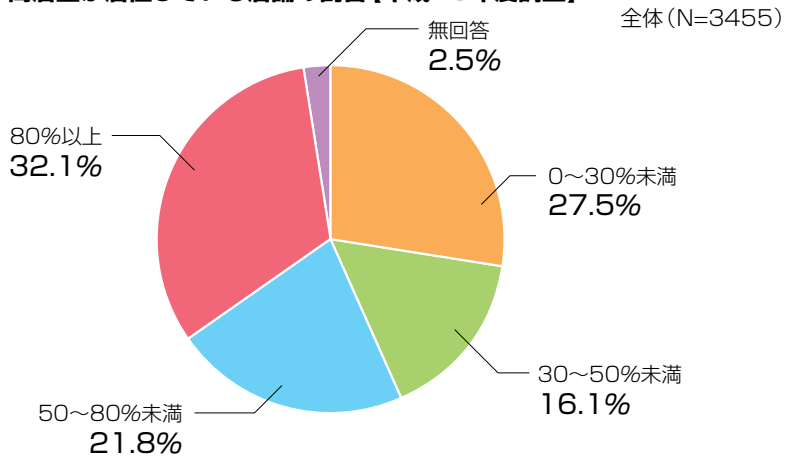
Q 商店主が居住している店舗の割合は？

A. 「3割未満」が40.8%、「3割以上5割未満」が15.4%という結果になりました。平成15年度調査と比較すると、「3割未満」が増加し、「8割以上」という回答が減っています。

● 図表6 商店主が居住している店舗の割合



● 図表7 商店主が居住している店舗の割合【平成15年度調査】



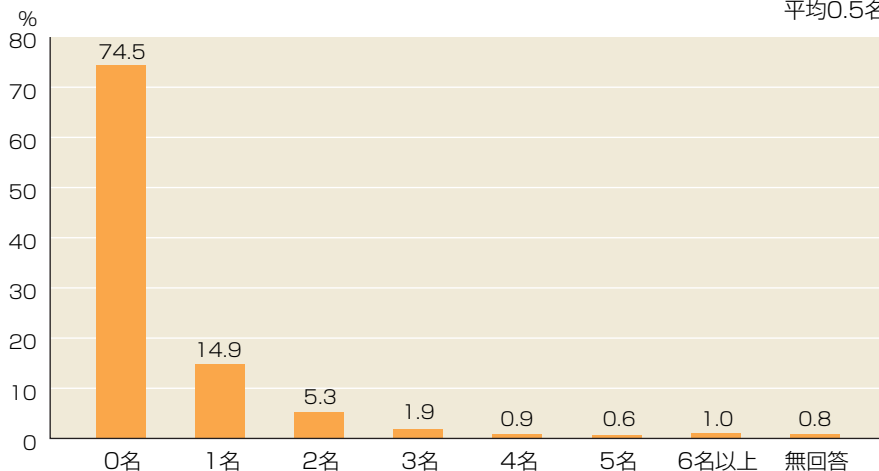


商店街の組織の専従事務局員数は？

A. ほとんどの組織に専従事務局員がいません。

● 図表8 専従事務局員数

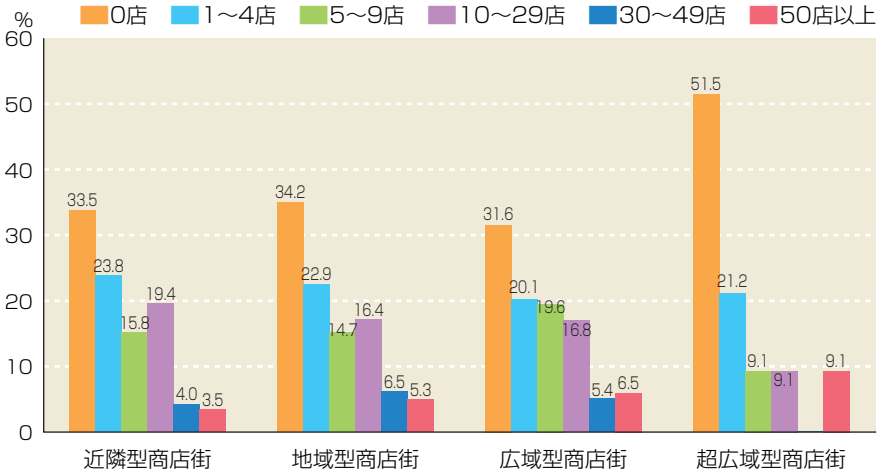
全体 (N=2644)
平均0.5名



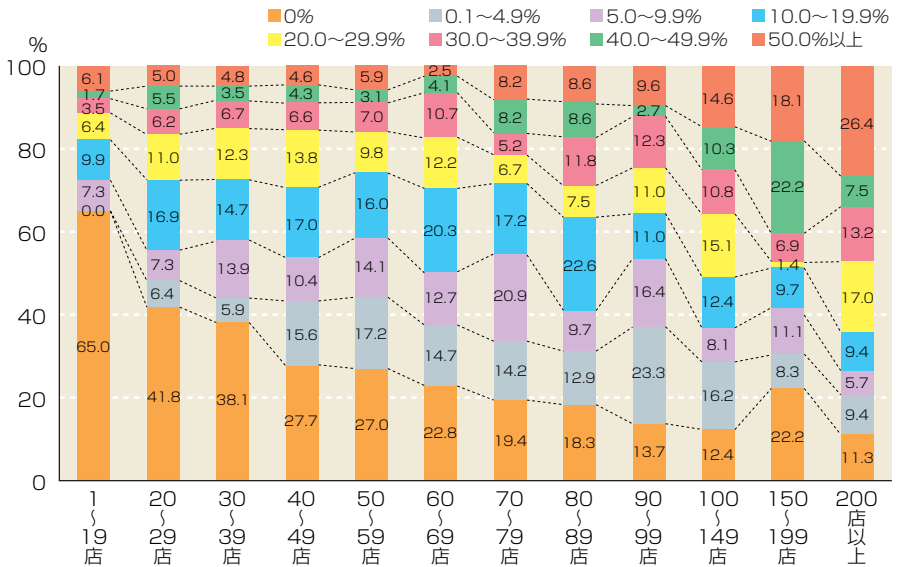
営業店舗における会費を納めていない店舗は？

A. 商店街タイプ別の会費を納めていない店舗数の平均は、「近隣型商店街」が9.0店、「地域型商店街」が11.1店、「広域型商店街」が13.0店、「超広域型商店街」が9.2店です。全体の平均は、10.0店です。また、商店街の規模が大きくなるほど、会費を納めていない店舗が増える傾向にあります。

● 図表9 商店街タイプ別の会費を収めていない店舗数割合



● 図表10 営業店舗における会費を納めていない店舗数の割合



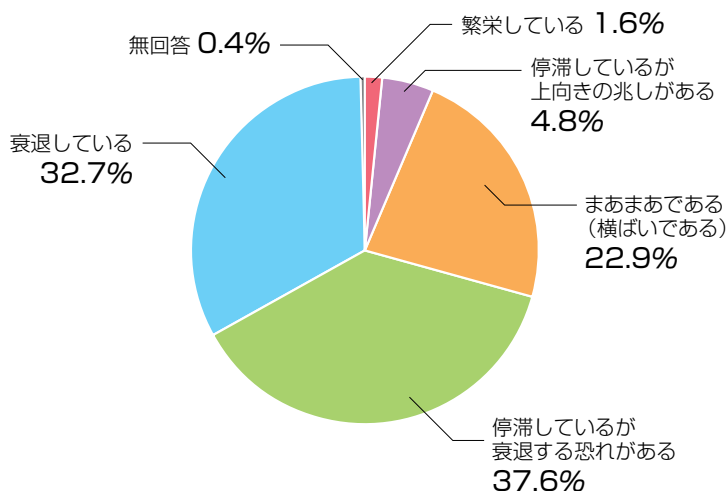


商店街の最近の景況は？

A. 「繁栄している」「停滞しているが上向きの兆しがある」と答えた商店街が6.4%で、「停滞しているが衰退する恐れがある」「衰退している」と答えた商店街は、70.3%でした。なお、「繁栄している」と回答のあった1.6%については、当調査を開始してから最も低い数字になりました。

● 図表11 商店街の最近の景況

全体 (N=2644)



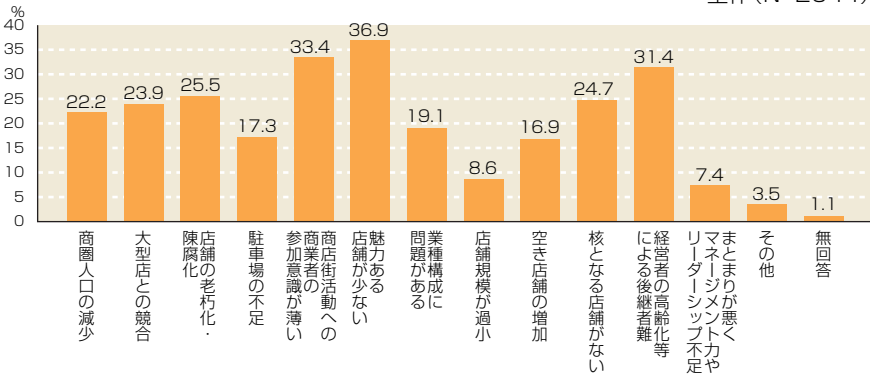
2. 商店街の問題と取組みについて

Q 商店街の抱える問題は何か？

A. 1位「魅力ある店舗が少ない」、2位「商店街活動への事業者の参加意識が薄い」、3位「経営者の高齢化等による後継者難」という結果になりました。また、「経営者の高齢化等による後継者難」と回答した商店街に、その対策を聞いたところ「若手向けの研修会の実施」や「青年部の設立」、「テナントの誘致」「経営者の公募」が主な回答でした。

● 図表12 商店街における大きな問題

全体(N=2644)



● 図表13 商店街における大きな問題（過年度比較）

	最も多かった回答	二番目に多かった回答	三番目に多かった回答
平成7年度	大規模店に客足が取られている (75.7%)	後継者難 (63.9%)	大規模店出店ラッシュに押され気味 (60.6%)
平成12年度	魅力ある店舗が少ない (72.8%)	大規模店に客足が取られている (72.3%)	商店街活動への事業者の参加意識が薄い (65.0%)
平成15年度	経営者の高齢化等による後継者難 (67.1%)	魅力ある店舗が少ない (66.3%)	商店街活動への事業者の参加意識が薄い (55.7%)
平成18年度	魅力ある店舗が少ない (36.9%)	商店街活動への事業者の参加意識が薄い (33.4%)	経営者の高齢化等による後継者難 (31.4%)

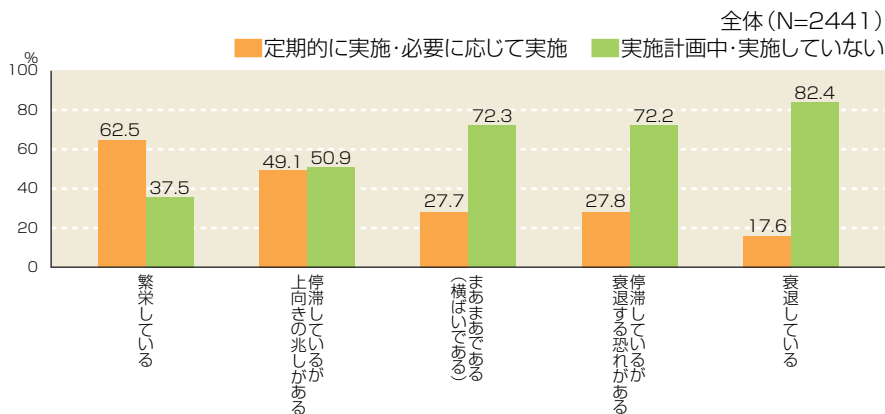
※平成18年度は回答数を3つまでに制限しているため、多肢選択が可能であった前回までの調査と比べ回答率が低くなっています。



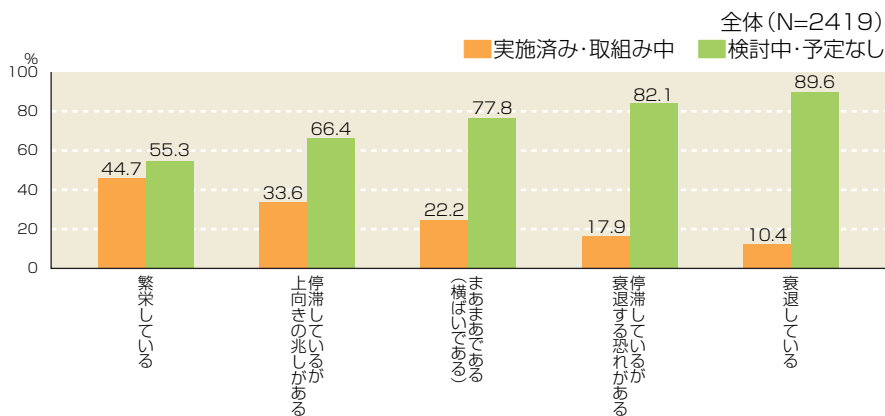
繁栄している商店街の取組みは？

A. 「通行量調査の実施」や「商店街のバリアフリー」などです。

● 図表 14 商店街の景況と通行量調査の実施



● 図表 15 商店街の景況とハード事業等の取組み(商店街のバリアフリー)

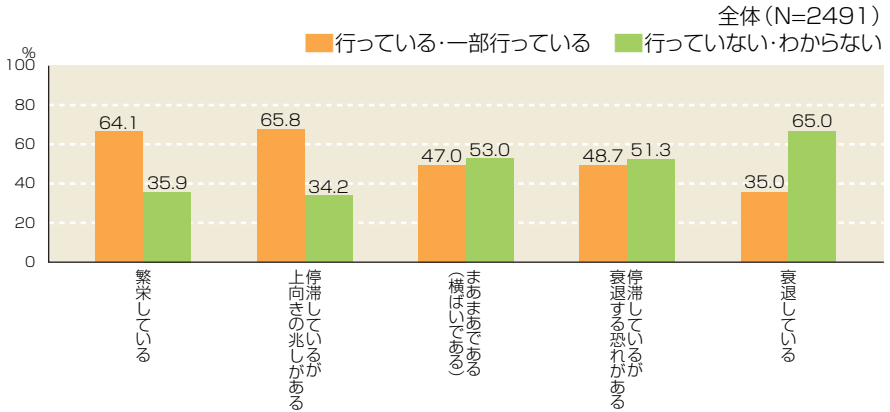




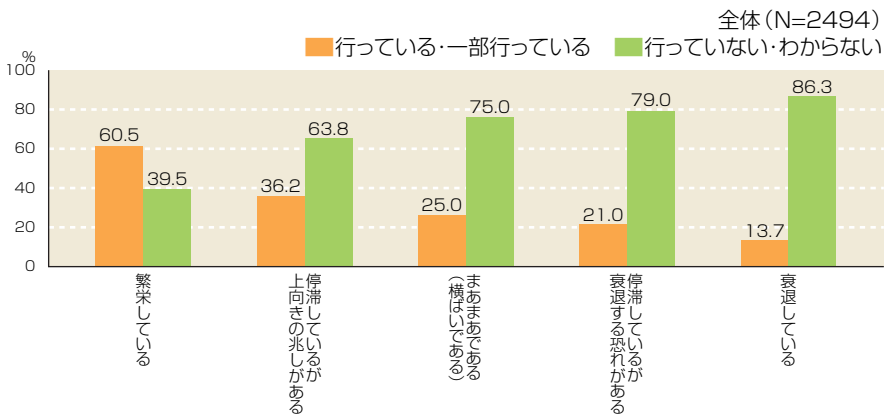
繁栄している商店街の個店に向けた取組みは？

A. 「商品構成の見直し・変更」や「営業日の拡大」などです。

● 図表16 商店街の景況と個店の改善・活性化策（商品構成の見直し・変更）



● 図表17 商店街の景況と個店の改善・活性化策（営業日の拡大）

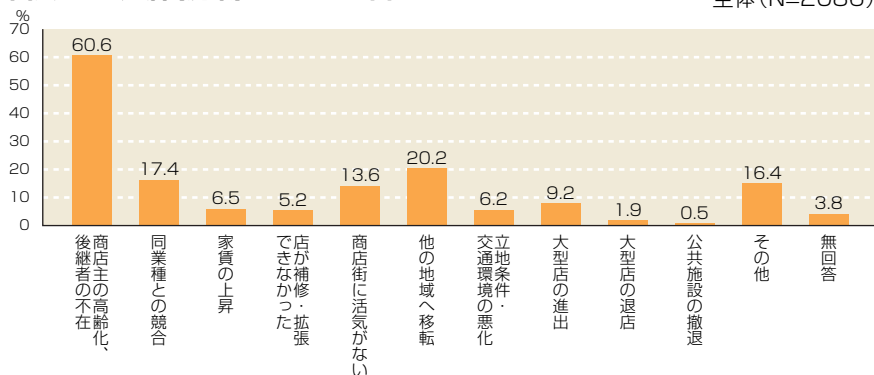


Q 商店が廃業した主な理由は？

A. 6割の商店街が「店主の高齢化、後継者の不在」が主な理由と回答しました。

● 図表18 退店（廃業）した主な理由

全体(N=2086)

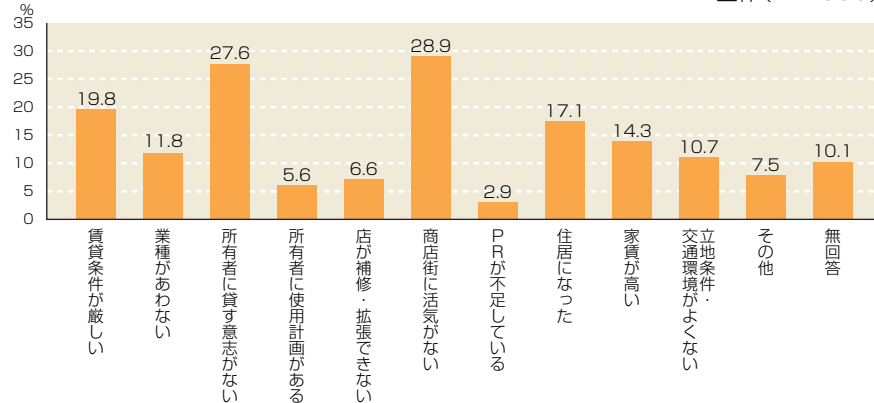


Q 空き店舗が埋まらない理由は？

A. 「商店街に活気がない」が28.9%、「所有者に貸す意思がない」が27.6%、「賃貸条件が厳しい」が19.8%でした。

● 図表19 空き店舗が埋まらない要因

全体(N=2086)



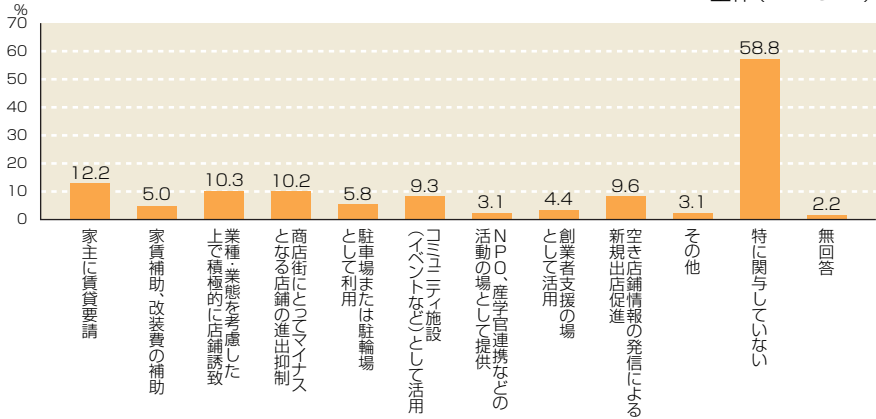


店舗の入れ替えについて何か取り組んでいますか？

A. 「特に関与していない」が58.8%、次いで「家主に賃貸要請」が12.2%でした。

● 図表20 店舗の入れ替えに関する取組み

全体 (N=2644)

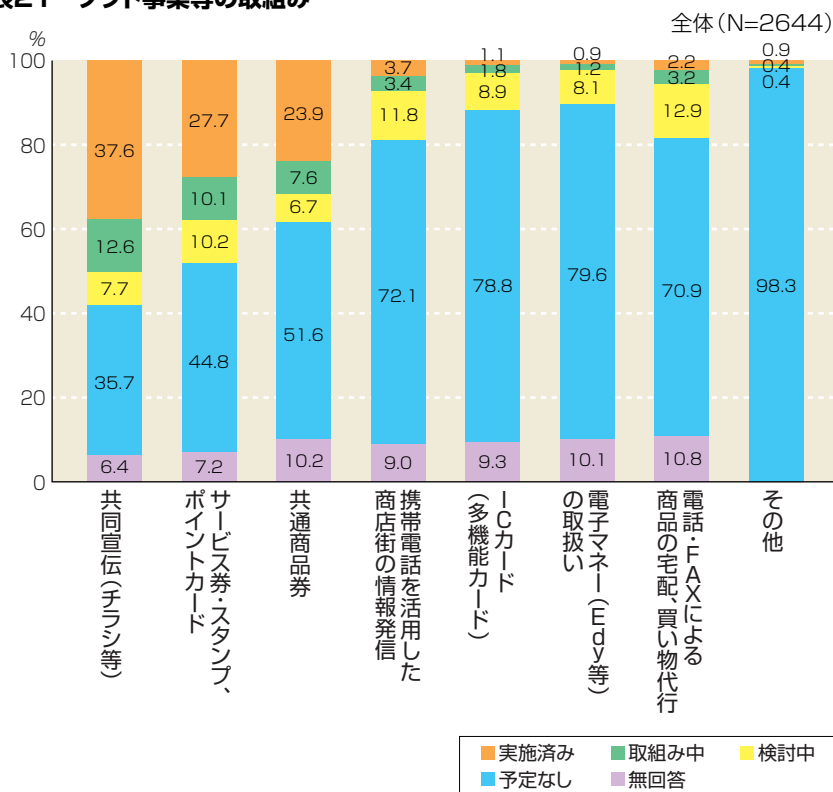




商店街が行っているソフト事業等は何ですか？

A. 主に、「チラシの配布などの共同宣伝」(37.6%)、「スタンプカードやポイントカード」(27.7%)、「共通商品券」(23.9%)が実施されています。一方で、現在、急速に普及が進み始めている「ICカード」や「電子マネー」についての対応では、ほとんどの商店街が実施する予定はないと回答しています。

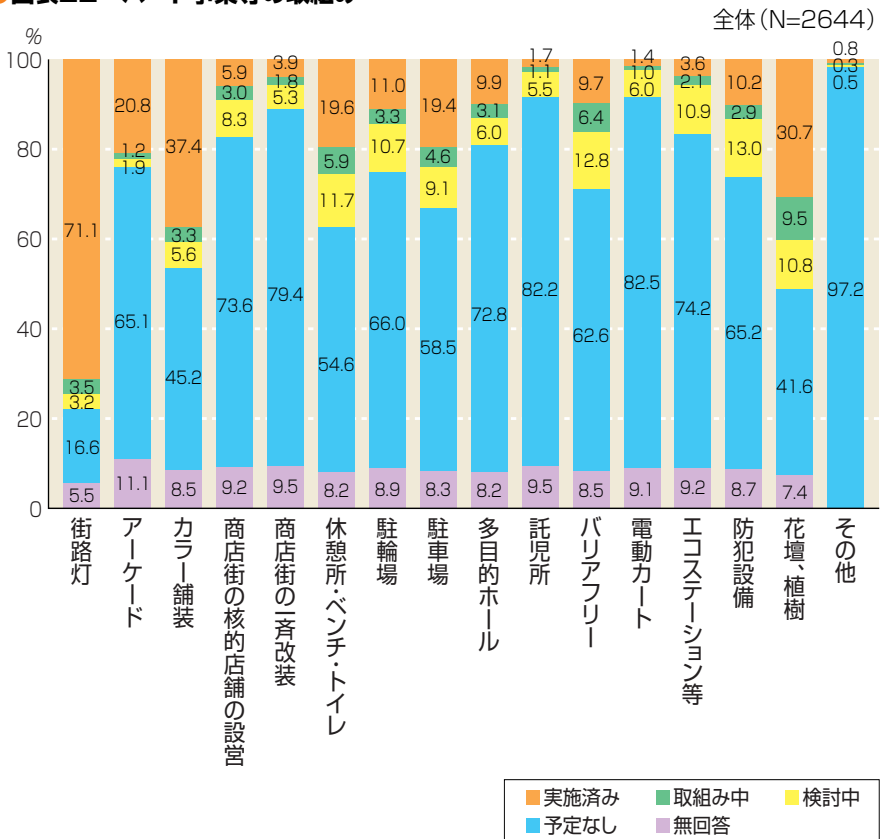
● 図表21 ソフト事業等の取組み



❗ 商店街が行っているハード事業等は何ですか？

A. 主に、「街路灯」（71.1%）、「カラー舗装」（37.4%）、「休憩所・ベンチ・トイレ」が19.6%でした。一方で、今後、少子高齢化などの経済・社会上の構造変化への対応が必要になってくる「バリアフリー」や「電動カート」「防犯設備」については、ほとんどの商店街が実施する予定はないとしています。

● 図表22 ハード事業等の取組み



※この冊子の作成は、中小企業庁の委託を受けた
全国商店街振興組合連合会が行っております。